

2-3 市内生産額

2-3-1 市内生産額の構成

平成 27 年における生産額は 5,570,168 百万円であり、浜松市の静岡県内でのシェアは 16.7%であった。製造業が含まれる財の生産額の構成比を静岡県、国と比べると、浜松市の財の割合は 37.8%であり、国と比べると 6.7 ポイント高い。

サービスの割合は、静岡県と比べて 8.8 ポイント高い。

静岡県内でサービスのシェアは 19.5%を占め、財のシェアより 6.0 ポイント高い。

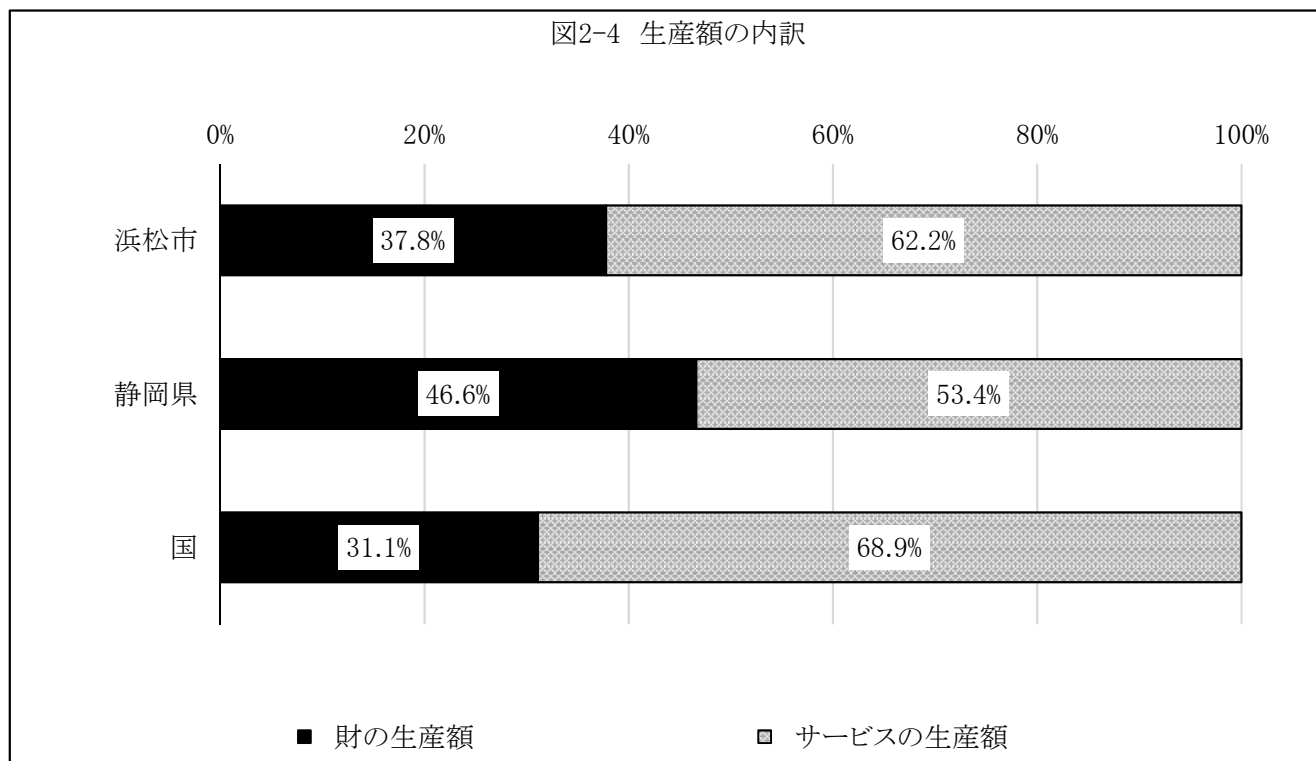


表 2-3 市内生産額とシェア

	浜松市	静岡県	国	市/県 割合
	金額 百万円	金額 百万円	金額 百万円	
生産額	5,570,168	33,324,396	1,017,818,388	16.7%
財の生産額	2,104,900	15,535,995	316,544,734	13.5%
サービスの生産額	3,465,268	17,788,401	701,273,654	19.5%
生産額	100.0%	100.0%	100.0%	
財の生産額	37.8%	46.6%	31.1%	
サービスの生産額	62.2%	53.4%	68.9%	

◇市内生産額

市内に所在する各産業部門の生産活動によって生み出された財・サービスの総額をいう。

◇財・サービスの生産額

財は、01 農林漁業～41 その他の製造工業製品、68 事務用品の総額をいう。

サービスは、46 電力・ガス・熱供給～67 対個人サービス、69 分類不明の総額をいう。

(説明内の数字は産業分類 37 部門における産業部門分類コード)

2-3-2 産業部門別の市内生産額

平成 27 年の市内生産額の産業部門別構成比をみると、輸送機械が 786,535 百万円の 14.1%と最も高い。市内における財の生産額は 2,104,900 百万円であり、市内生産額の 37.8%を占める。

サービスは 3,465,268 百万円で 62.2%を占めており、サービスのシェアは財より 24.4 ポイント高い。

表 2-4 産業部門別の市内生産額と構成比

	生産額 百万円	構成比
01 農林漁業	58,595	1.1%
06 鉱業	1,866	0.0%
11 飲食料品	83,871	1.5%
15 繊維製品	33,635	0.6%
16 パルプ・紙・木製品	40,514	0.7%
20 化学製品	7,863	0.1%
21 石油・石炭製品	3,021	0.1%
22 プラスチック・ゴム製品	124,921	2.2%
25 窯業・土石製品	17,314	0.3%
26 鉄鋼	28,407	0.5%
27 非鉄金属	17,186	0.3%
28 金属製品	77,026	1.4%
29 はん用機械	31,677	0.6%
30 生産用機械	157,131	2.8%
31 業務用機械	19,197	0.3%
32 電子部品	70,995	1.3%
33 電気機械	84,013	1.5%
34 情報通信機器	31,392	0.6%
35 輸送機械	786,535	14.1%
39 その他の製造工業製品	69,592	1.2%
41 建設	355,122	6.4%
46 電力・ガス・熱供給	48,629	0.9%
47 水道	37,569	0.7%
48 廃棄物処理	24,368	0.4%
51 商業	551,416	9.9%
53 金融・保険	231,475	4.2%
55 不動産	423,058	7.6%
57 運輸・郵便	353,640	6.3%
59 情報通信	107,747	1.9%
61 公務	172,514	3.1%
63 教育・研究	185,631	3.3%
64 医療・福祉	600,991	10.8%
65 他に分類されない会員制団体	22,296	0.4%
66 対事業所サービス	312,879	5.6%
67 対個人サービス	356,011	6.4%
68 事務用品	5,028	0.1%
69 分類不明	37,044	0.7%
財	2,104,900	37.8%
サービス	3,465,268	62.2%
市内生産額合計	5,570,168	100.0%

*図表の左の数字は産業部門分類コード、以下同様

◇産業部門

産業連関表における国の産業部門は基本分類として行 509 部門×列 391 部門に分類した財・サービスごとの生産活動に分類しており、そこから小分類として 187 部門に、中分類は 107 部門に、大分類は 37 部門に統合している。

2-3-3 生産額からみた特化係数

産業部門別の生産額の構成比をみると、輸送機械が 14.1%と最も高く、次いで医療・福祉の 10.8%であった。輸送機械をみた場合、国の 5.4%に対して浜松市は 14.1%であり、市の生産額構成比を国の構成比で除した特化係数は 2.60 (14.1%÷5.4%) と突出して高い。浜松市における輸送機械は生産額総額に占める割合も高く、かつ特化係数も高いことから、経済的影響力の高い産業部門である。

浜松市において輸送機械に次いで高い特化係数は、生産用機械の 1.72 であるが、生産額は全体の 2.8%に留まっており、特化係数は高いものの市内生産額からみたシェアは高くない。

表 2-5 産業部門別の生産額構成比および特化係数

	生産額構成比		特化係数	
	市	国	市/国	
01 農林漁業	1.1%	1.3%	0.83	
06 鉱業	0.0%	0.1%	0.40	
11 飲食料品	1.5%	3.8%	0.40	
15 繊維製品	0.6%	0.4%	1.71	
16 パルプ・紙・木製品	0.7%	1.2%	0.62	
20 化学製品	0.1%	2.8%	0.05	
21 石油・石炭製品	0.1%	1.7%	0.03	
22 プラスチック・ゴム製品	2.2%	1.4%	1.63	
25 窯業・土石製品	0.3%	0.6%	0.50	
26 鉄鋼	0.5%	2.7%	0.19	
27 非鉄金属	0.3%	0.9%	0.36	
28 金属製品	1.4%	1.2%	1.20	
29 はん用機械	0.6%	1.0%	0.55	
30 生産用機械	2.8%	1.6%	1.72	
31 業務用機械	0.3%	0.7%	0.51	
32 電子部品	1.3%	1.3%	0.96	
33 電気機械	1.5%	1.6%	0.96	
34 情報通信機器	0.6%	0.5%	1.05	
35 輸送機械	14.1%	5.4%	2.60	
39 その他の製造工業製品	1.2%	1.0%	1.28	
41 建設	6.4%	6.0%	1.07	
46 電力・ガス・熱供給	0.9%	2.4%	0.36	
47 水道	0.7%	0.4%	1.51	
48 廃棄物処理	0.4%	0.5%	0.91	
51 商業	9.9%	9.4%	1.06	
53 金融・保険	4.2%	3.5%	1.19	
55 不動産	7.6%	7.9%	0.96	
57 運輸・郵便	6.3%	5.4%	1.17	
59 情報通信	1.9%	4.9%	0.39	
61 公務	3.1%	3.9%	0.79	
63 教育・研究	3.3%	4.3%	0.78	
64 医療・福祉	10.8%	6.6%	1.62	
65 他に分類されない会員制団体	0.4%	0.4%	0.92	
66 対事業所サービス	5.6%	7.3%	0.76	
67 対個人サービス	6.4%	5.4%	1.19	

*産業部門別の図表については、事務用品および分類不明を除く、以下同様

◇特化係数

市内生産額の構成比を国の構成比で除したものであり、比較優位を示す指標である。1 が全国水準であるため、1 を大きく超えるほど強みがある（特化した）産業部門といえる。